

2009年(平成21年)度 第1回理事会記録

(この理事会は引き継ぎの意味も込め、次期役員予定者の陪席のもとでおこなわれた。)

日時：2009年(平成21年)2月15日(日)14:05~16:45

場所：八重洲倶楽部 第2会議室

出席者：柴田洋三郎(理事長)、牛木辰男、岡部繁男、藤本豊士(以上、常務理事)、石村和敬、井関尚一、井出吉信、大野伸一、坂井建雄、菅沼龍夫、仙波恵美子、竹内義喜、辰巳治之(以上、理事)、渡辺雅彦(監事)、依藤 宏(常任幹事)

陪席者：明坂年隆、天野 修、岩永敏彦、河田光博、小路武彦、小林 繁、佐々木順造、佐藤洋一、寺島俊雄(以上、次期理事予定者)、相磯貞和(次期監事予定者)天野恵子、川村知子(以上、口腔保健協会)

欠席者：伊藤恒敏、木山博資、塩田浩平、澤田 元(以上、理事)山田仁三(監事)

I. 理事長挨拶

参集への謝辞にはじまり、会員数の減少、経理状態、実習室のホルマリン問題など解剖学会の抱える現状と問題点を説明し、新旧役員へ理解と協力を依頼して挨拶を終えた。

II. 議事録署名人の選任

議事録署名人として坂井建雄、井出吉信両理事を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

III. 会議記録の確認

- (1) 2008(平成20)年度臨時総会記録、同摘録、同議事録(案)
- (2) 2008(平成20)年度第3回理事会記録、同摘録、同議事録(案)

IV. 次期理事長・次期常務理事の選出について

次期理事予定者による互選がおこなわれ、理事長に内山安男次期理事、常務理事に牛木辰男、岡部繁男、河田光男、藤本豊士 各常務理事が選出され、承認、総会に提案されることになった。

V. 報告事項

1. 庶務報告(岡部庶務担当理事)

- (1) 教授就任による申請学術評議員
2件の申請について報告、確認がおこなわれた。
- (2) 平成21・22年度役員選出選挙結果
標記結果について報告がおこなわれた。
- (3) 各種委員会報告
9委員会からの報告書をもとに報告がおこなわれた。
- (4) 総会・学術評議員会の案内と書面表決書および総会・学術評議員会資料の確認
標記案内状、書面表決書、資料等について確認がおこなわれた。
- (5) 名簿について
名簿の発行に関連し、販売を口腔保健協会に委託すること、表紙、広告掲載、前付け・後付けページなどの確認がおこなわれた。また、未回答講座への連絡について役員間の分担が決定された。
- (6) 解剖学会ホルマリンアンケートのHP公開について
アンケート結果のHPでの公開の是非について意見交換がおこなわれ、様々な問題点があるので、慎重にした方がよいとの結論に至った。
- (7) 人体の不思議展について(この項は理事長よりの報告)
日本学術会議金澤会長より「人体の不思議展」について関連分野学術団体としての見解を求められたこと、解剖学会としては前回理事会で説明した立場(2008年度第3回理事会記録Ⅲ. 1.(5)に記載)で一貫しているとの報告があった。
- (8) サージカルトレーニングについて(この項は理事長よりの報告)
日本外科学会教育委員長 近藤 哲 北大教授より厚労省科研指定研究としてサージカルトレーニングに関する研究班を結成するにあたり、解剖学会から研究協力者を推薦願いたい旨の依頼があり、坂井建雄順天堂大学教授を推薦したことが報告された。

2. 編集報告(藤本編集担当理事)

- (1) ASI誌の編集体制
ASI誌の編集体制について、2009年3月で任期の切れるeditorがいるため、入れ替えがあること、出版社の移行手続きが完全に完了していないため、年森清隆千葉大学教授を次期編集委員長候補者とするを新理事会に引き継ぎ事項としたいことなどが報告された。
- (2) ASI誌投稿規定
ASI誌の投稿規定の一部変更について報告があった。

3. 企画・渉外報告(岡部企画・渉外担当兼任理事)

- (1) 平成20年度解剖組織技術士功労賞
標記功労賞候補者について報告があった。

(2) 平成21(2009)年度総会・全国学術集会準備状況(この項は佐々木順造次期理事予定者よりの報告) 標記第114回総会・全国学術集会の準備状況に関する報告があった。

(3) 生物科学学会連合第22回連絡会議

2009年1月26日開催の標記会議について報告があった。

4. 会計報告(牛木会計担当理事)

(1) 支部学術集会収支報告

各支部の学術集会収支決算について報告がおこなわれた。

(2) 平成20年度決算書概要(案)

平成20年度決算書概要(案)について報告と説明がおこなわれた。なお、これに関連してここ十数年の会員数の漸減にともない、会費収入も減ってきていることが示された。

VI. 審議事項

1. 平成21年度事業計画(案)

標記案が提示され、承認された。

2. 平成21年度予算書(案)

標記案が提示、説明がおこなわれ、質疑応答ののち、承認された。

3. 申請による学術評議員審査

10名から申請の出ている標記学術評議員審査について、評議員のあり方等の意見交換がおこなわれ、決定は後日実施するメールによる投票でおこなうとされた。

4. 名誉会員の推薦

名誉会員の被推薦有資格者8名について、学術評議員会・総会に上程することが決定された。

5. 永年会員の推薦

候補者案が提示され、承認、学術評議員会・総会に上程されることになった。

6. 奨励賞規約改定について

奨励賞選考委員会提案の奨励賞規約改定について、審議がおこなわれたが、提案に対して異論が出されたため、次期執行部において再検討するとされた。

7. 役員選出規約の改訂(案)

役員選出規約「7. 役員に欠員が生じたときは、就任の日から6ヶ月以内ならば次点者を繰り上げ当選とし、6ヶ月を越えた場合には、原則としてすみやかに選挙を行い、これを補充する。但し、その任期は前任者の残任期間とする。」を「7. 理事および監事に欠員が生じたときは、次点者を繰り上げ当選とする。ただし、その任期は前任者の残任期間とする。常務理事に欠員が生じたときは、理事の欠員を補充したのち互選により再選出する。ただし常務理事の残任期間が短い場合には他の常務理事が兼務することを妨げない。」に改訂することが諮られ、承認された。

8. 会費規約の改定(案)および永年会員推薦規約改定(案)

会費規約 2. 年会費(5) 終身会費「60歳に達した正会員は終身会費として当年度を含め10万円を一括前納することができる。」および 永年会員推薦規約(1)の「学術評議員として10年以上の経歴を有し、終身会費を納入した60歳以上の正会員」の「60歳」を「65歳」に引き上げることが提案され、承認された。

9. 発生学用語のFICAT原案

標記原案についての意見を用語委員会でとりまとめ、返答して頂くことになった。

10. 次期理事会への申し送り事項(案)

標記(案)について提案、説明がおこなわれ、承認された。

11. 次回理事会、常務理事会、支部長会、各種委員会の日程等について

標記各種会議の日程等の案が提出され、承認された。

上記の2009年度(平成21年度)第1回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2009年(平成21年) 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人